執筆担当者

【経理・税務】

きではないでしょうか。

税理士 **小林俊道** 【社会保険・労務】 特定社会保険労務士 **池内恵介**

事務チェックポイント

毎月の経理、税務、社会保険、総務関係の手続きをカレンダーで紹介します。詳しい実務については、10ページ以降をご参照ください。

8 計の購買力回復と消費活性化を実現するた 舵取りを迫られますが、そうしたなかで家 れません。今後も政府は経済政策の難しい 伸び悩み、景気停滞が長引くことは避けら と、日本経済の約6割を占める個人消費が 停滞と物価上昇が同時に発生する経済現象 追いつかず、実質賃金は6ヵ月連続のマイ たものの、 多くの企業が前年を上回る賃上げを行なっ **う状況に陥ります。この状態が今後も続く** ョンでは不況下で物価が上昇し続けるとい えて物価が上昇しますが、 れるのがスタグフレーションのリスクです。 ナスとなりました。そうしたなかで懸念さ 0 周知のとおりスタグフレーションは景気 「消費税減税」を選択肢のひとつとす 通常は景気が良くなると需要が増 結局、 賃金の伸びが物価上昇に スタグフレーシ



- 9月分の住民税特別徴収税額、所得税源泉徴収税額の納付期限です。
- 9月分の社会保険料、子ども・子育て拠出金の納付期限です。
 - ○労働保険料の第2期分の納付期限は10月31日です。
 - ○9月分の社会保険料については、標準報酬月額の変更月であることに留意する必要があります。

計調査によると、物価変動の影響を除いた

厚生労働省が発表した6月の毎月勤労統

実質賃金は前年同月比で1・3%の減少。